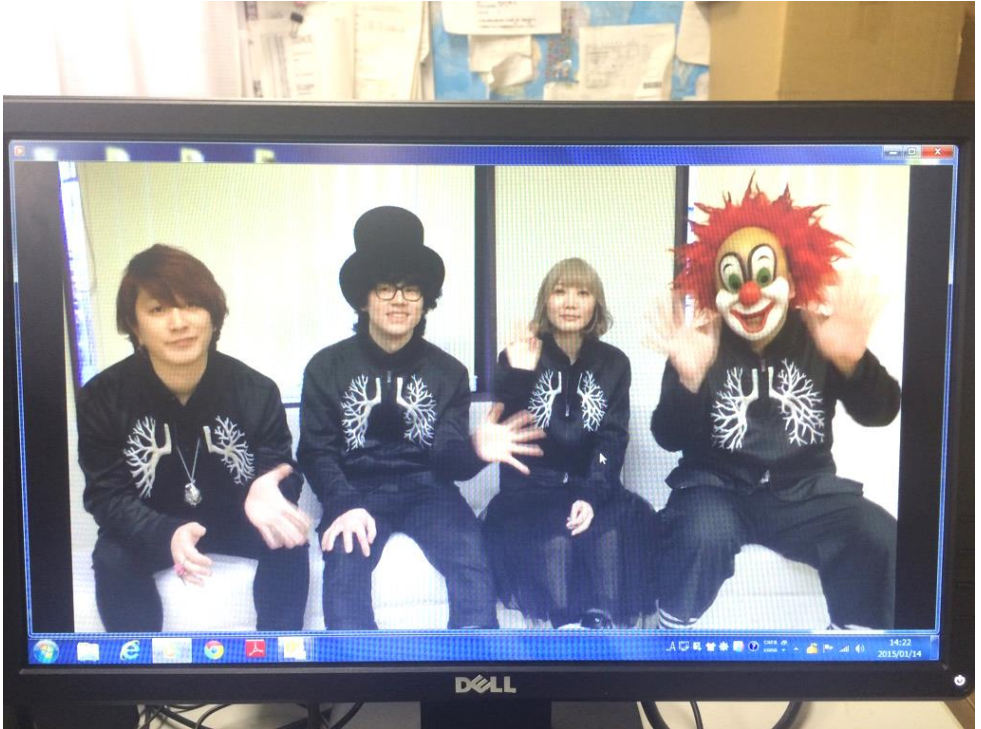


2015年
 2月


カンボジア孤児院へ動画メッセージを送っていただきました SEKAI NO OWARI の皆様！

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

一時帰国しておりましたカンボジア孤児院の前田スタッフは、予定通りの1月8日、無事カンボジアへ到着しました。孤児院では、子供たちが前田スタッフの帰りを待ちわびていたようで、帰院した時には大変な喜びようだったそうです。その話を聞いた時、前田スタッフは、孤児院の子供たちにとっては、本当のお母さんだと、ある種の感動を覚えました。カンボジア孤児院に関しては、1月の中旬に、数名の理事が派遣され、その際、私共孤児院に協力して下さっておられる音楽グループ「SEKAI NO OWARI」様よりお預かりした動画メッセージをお渡しすることになっております。子供たちも大変喜ぶものと確信しております。ザンビア孤児院では、新しい井戸を掘るための費用が緊急に必要な状態です。最後にはいつも同じお願いばかりで、甚だ恐縮ではございますが、皆さまの一層の御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

今井志生子

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。子ども達はマー（お母さん）ことルツ前田さんが1月8日、無事にカンボジア孤児院に戻って来られました。今回、私は2年振りの滞在でしたが様々な変化に驚かされています。高層ビルや新しい道路が次々と建設され、孤児院の近くにも近代的なショッピングモールが出来ました。近所で買い物が出来たり、道路に外灯や信号が出来たりと便利で快適になった面も多々ありますが、一方で心配な面もあります。子ども達が通っている学校でも、中高校生がスマートフォンを持ったり原付バイクやマウンテンバイクで登校したりするのが当たり前になってきています。孤児院の子ども達にはとてもそのようなものは与えられませんから、著しい経済発展とともに学校内でさえ格差が生じているのを感じます。今学期から学費と教材諸費が値上がりしたのも事実です。このような変化の中で、孤児達の生活がこれからも守られ健全に成長していくことができるようにと願っています。



カメラに向かってポーズをとる子どもたち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

子どもたちのために洋服などを寄付したいと東京事務局に連絡して来て下さった方々がいらっしゃるそうです。本当にありがとうございます。子どもたちは少ないですが、お休みを楽しみました。それぞれ家族とともに、たとえ、たくさんのごちそうは無くても、喜びと平安をもって過ごしました。学校では、1月は情報テクノロジー教育月間です。2014年は素晴らしい年でした。子どもたちは学校や家で毎日何かしら新しいことを学んでいます。それが子どもたちを日々成長させています。引き続きフィリピン孤児院への皆様のご支援を、どうぞよろしく願いいたします。



エレノアスタッフとマハヤハイの子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ（お元気ですか）？皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。残念ながら、ザンビアでは相変わらず水不足です。現在孤児院にある井戸をさらに掘削していくための費用があと約 23 万円必要です。どうか皆さん、ご支援をよろしくお願いいたします。この 1 月から、それぞれが進級して、フィデリスとテリースは遂に最終学年の 12 年生（高校 3 年生）になります。デヴィットとステイブンは 9 年生（中学 3 年生）になりますが、ふたりとも日本に来て、技術を学



ぶことを望んでいます。ホリデーの間、ルサカで私たちと共に過ごしましたが、毎日数時間、日本語を真剣に学んでいました。また、ルサカ第一孤児院、第二孤児院の働きを、一台の車両で担うことがこれ以上困難になっていて、緊急に四駆車両が必要になっています。ザンビアで購入するために、約 240 万円が必要です。どうか、そのためのご支援も、重ねてよろしくお願いいたします。

衣類を近所の子どもたちにプレゼントしている桜子さん！

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。こちらは猛烈な暑さのさなかにちょうど良く雨が降ったりして、過ごしやすいです。住んでいる家の大家さんから冷蔵庫をいただきました。冷蔵庫はすでに一台ありますが、これ



から児童養護施設ができれば、さらに大人数の食事のための食材の保管が必要になります。ブラジルでは冷蔵庫は非常に高いので、分割払いで月々に少しずつ払ってやっと買える品物です。問題は母屋から私が住んでいる離れまで運ばなくてはいけないということでした。グアララペスに住んでいるアンドレに頼んでみたところ、お母様がアラサトゥーバにお住まいとのことで、家族で来てくださり、運んでくださいました！

アンドレさんと松本スタッフ！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>